



学校だより
第23号

花っ子

那覇市立垣花小学校
校長 宮城 弘之
令和3年3月5日

教育目標「夢と希望を育み どの子も楽しく学び 生き生きと活動する垣花っ子の育成」

“読書冊数「たくさん読みました！」”

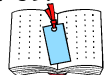
今年度の児童全体の貸出冊数（年間）が決まりました。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり昨年度より冊数は少ない状況（全体35,877冊）でしたが、一人当たり平均158冊の本を借りて読むことができました。

また、学校が示している年間目標冊数も約9割の児童がクリアするなど、コロナ禍の中でも子どもたちは本に親しむことができましたと思います。

読書の大切さは、たくさんの知識を得るだけでなく、様々な世界を創造的に体験（追体験）することができます。自分の知らない楽しみ、苦しみ、どうすることもできない哀しみなどがあることを本をとおして知ること、「他人を思いやる心」や「命を大切に作る心」などが育つと考えます。花っ子の皆さん、これからも読書習慣を身につけて「豊かな人生」を歩んでほしいと願います。

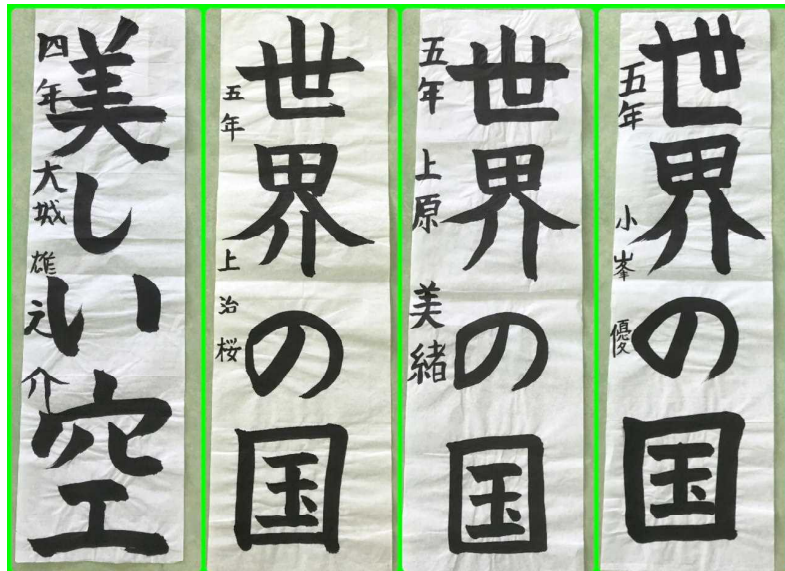
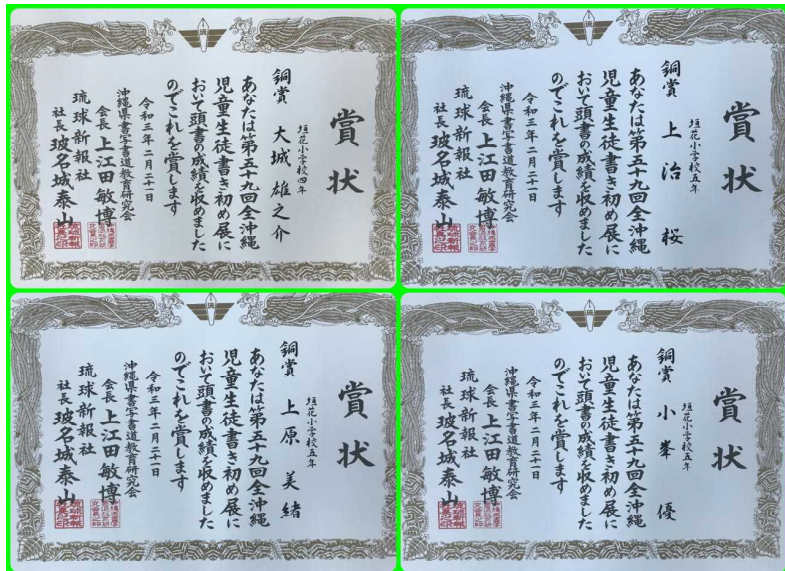


目標冊数（県の目標冊数）	低学年（120冊）	・	中学年（100冊）	・	高学年（80冊）
本校一人当たり平均冊数：	1年生（176冊）		2年生（183冊）		
	3年生（144冊）		4年生（200冊）		
	5年生（125冊）		6年生（94冊）		



“児童の活躍”

第59回全沖縄児童生徒書き初め展において、下記の4名が「銅賞」を受賞しました。
雄之介さん（4年）、桜さん・美緒さん・優さん（5年）の皆さん、おめでとうございます！



5年生の照屋正太郎さんは現在、わかわし剣道スポーツ少年団（真和志小体育館）に所属し、週2～3回の稽古に励んでいます。わかわし剣道クラブは創立34年の歴史があり、幼稚園から大人まで幅広く稽古をしています。正太郎さんは2年の後半から剣道を始めており、これまで大会にも出場するなど力をつけてきました。正太郎さんは「剣道は面を打ったときの爽快感や言われたことが上手くできたり、友だちと一緒に練習することが楽しい。」と話します。また、今後の目標は「6年生になっても後輩に胸を張れるくらい上手になりたい！」と力強く話しました。剣道などの武道は「礼に始まり、礼に終わる」と言われています。剣道を通して体力・技術を伸ばすと同時に集中力・精神力の向上にも大いに役立つものと思います。正太郎さん、これからも頑張ってください。

緊急事態は2月末で解除されましたが、引き続き、新型コロナウイルス感染防止の徹底（マスク・手洗い・3密を避ける）をお願いします。

【訂正とお詫び】学校だより第22号の「3月の行事予定」で、中学校卒業式の日程が間違っていました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。（誤）3月7日（日）→（正）3月6日（土）